

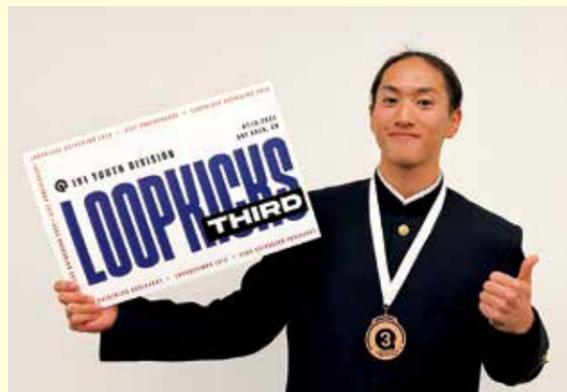
## 全国・世界大会出場おめでとう



ブラジリアン柔術の全国大会で優勝

道中 <sup>けん</sup>健人さん (柔専館)

道中さんは、第26回全日本ブラジリアン柔術選手権(8月29日・東京都)アダルト黒帯ライト級で準優勝の成績を収めました。また、第11回全日本ブラジリアン柔術オープントーナメント(5月4日・神奈川県)、第5回西日本柔術オープントーナメント(12月21日・大阪府)ではアダルト黒帯ミドル級で出場し、両大会とも優勝の成績を収めました。



トリッキングの世界大会で堂々の3位

花田 <sup>ぜん</sup>善さん (淡路三原高校2年)

花田さんは、兵庫県が実施した『高校生チャレンジ留学～HYOG O 高校生「海外武者修行」応援プロジェクト～』の厳正な審査を通過し、約20日間、アメリカに留学しました。留学期間中に出場した、トリッキング(武道や体操、ダンスの動きを融合させた新スポーツ)のU18国際大会であるLoopkicks Gathering2025(アメリカ・サンフランシスコ)で世界3位の成績を収めました。



新メニューお披露目会の様子



うずの幸マイスター認定式の様子



南あわじ市・鳴門市の事業者らが連携

## 「食」をテーマに地域の魅力を発信

南あわじ市と鳴門市の飲食店や宿泊施設が中心となって活動する「うずしお海道」プロジェクト推進協議会では、「鳴門海峡の渦潮」を中心とした観光エリアの長期滞在型観光と交流人口の増加を図るため、地域のブランディングに取り組んでいます。活動を通して、「うずの幸グルメ(※1)」「カップイングルメ(※2)」と称した新たな広域連携ご当地グルメが誕生し、地元住民や観光客に提供されています。また、地域の恵みや食材の魅力を伝える伝道師「うずの幸マイスター(※3)」の認定を行っています。

2月12日には道の駅うずしおで、「うずの幸グルメ」と「カップイングルメ」の新メニューお披露目会と、新たに認定された「うずの幸マイスター」の認定式が開かれ、色あざやかに趣向を凝らした地産地消の料理やスイーツが並びました。

※1 うずの幸グルメとは

鳴門海峡近海の魚介3種類以上と、両市の特産食材等を組み合わせた新たなご当地料理。参画する南あわじ市内・鳴門市内の22施設が独自のメニューを開発し、提供しています。

※2 カップイングルメとは

サイクリスト向けに、両市の特産品を使用し、カップで提供するテイクアウトグルメ。参画する両市内21施設が独自に開発し、提供しています。

※3 うずの幸マイスターとは

うずしお地域の恵みや食材の魅力を伝える「伝道師」。1月に認定試験が行われ、今年度は22人が新たに合格、昨年度の認定者数と合わせ、計57人のうずの幸マイスターが各市内で活躍しています。

参画施設などの詳細は、うずしおぐるぐるホームページまたは淡路島観光協会(☎22-0742)までお問い合わせください。



うずしおぐるぐる



色とりどりの梅が園内を彩る

## 広田梅林「梅まつり」

広田梅林ふれあい公園では3月8日まで、「梅まつり」が開催されています。現在、約450本の梅が美しく咲き誇り、見ごろを迎えています。入園料は無料で、どなたでもお気軽に楽しめます。色とりどりの梅の花が春の訪れを感じさせ、訪れる人の心を和ませています。春の香りとともに、美しい梅林の景色をぜひご堪能ください。

園商工観光課 ☎ 43-5221



瓦のまち、津井で開催

## ひな人形と瓦、和の共演

400年の伝統を誇るいぶし瓦とひな人形が共演する「瓦とひなまつり」が、2月8日から産業文化センターで開催されています。

10回目を迎えるこの催しは、地場産業である瓦をPRし、地元を盛り上げようと地域住民らでつくる「瓦とひなの会」が毎年開催。約1,500体のひな人形といぶし瓦が展示され、来場者を魅了しています。期間は3月21日までで、入場は無料(協力金制)です。

施設のお名前が「Nadacissus あわじ」に決定

## 灘黒岩水仙郷で水仙まつり開催

淡路島の冬の風物詩「灘黒岩水仙郷」で2月8日に水仙まつりが開催されました。特産品の販売(みかんジュースなど)や淡路人形浄瑠璃の体験コーナーが設けられ、寒中訪れた来園者を楽しませました。イベントでは、施設のお名前が発表され、次のお名前と決定しました。

施設お名前 「<sup>ナダシス</sup>Nadacissus あわじ」

施設屋上お名前 「ミランカテラス」

